

でんき宇奈月 かわら版

Vol. 139
2023年11月

みなさんこんにちは(^^)/

夏頃から、当法人の視察依頼が増え始めていました。温泉街でも多くの外国人観光客を見るようになりました。今年7月から9月に日本を訪れた外国人の消費額が過去最高となったこというニュースも流れています。宿泊日数が増えたほか、円安や物価上昇なども影響したこと。



紅葉シーズンに多くの観光客が宇奈月温泉を訪れ、温泉街で多く消費していってもらいたいですね。

上越教育大学付属小学校6年生 でんき宇奈月を視察

10月18日(水)午前、上越教育大学付属小学校6年生34名・先生3名が、でんき宇奈月を視察しました。訪れた児童たちは、総合学習で「電気」をテーマに学んでいて、3日間の宿泊体験学習の最初に、当法人を選んでいただきました。

はじめに当法人の取組み説明をし、その後、2班に分かれ、小水力発電の説明と設備の見学、低速電気バスE-MUに乗車し温泉街の周囲と黒部川電気記念館の見学を行いました。

タブレットにメモをしたり、写真や動画を撮影したり、「地球にやさしい取組みだと思うので、他の地域にも広げたらいい」と話していた児童もいました。



裏面もあります、見てくださいね ❤

わたしたちの暮らしと地球温暖化 その78

「水力発電」と「小水力発電」の違いは、何でしょうか？

水の流れで水車(タービン)を回転して発電する原理は同じです。違いは、ダムのような大規模構造物を必要とするか、しないかです。「小水力発電」は、河川の水を貯めること無く、そのまま利用します。一般河川、農業用水、砂防ダム、上下水道など、現在無駄に捨てられているエネルギーを有効利用します。



出展)<https://j-water.org/about/index.html>

「小水力発電」の長所

- ◆24時間365日安定して発電することができる
- ◆ダムや貯水池といった大規模の開発を必要とせず、自然への影響を最小限にとどめることができる
- ◆都市・郊外を問わず全国各地に設置のポテンシャルがある
- ◆水源地近くのコミュニティが運転・保守を行いつつ電力を消費する「地産地消」に適している
- ◆発電にあたりCO₂排出がない

「小水力発電」の短所

- ◆必要な落差・流量を確保するため、立地条件に制限がある（落差と流量がある場所に限定される）
- ◆一つの発電所で発電できる容量は小さい
- ◆水利権の整理や河川利用に関わる法規制への細かな対応が必要

REPOS
QRコード ⇒



環境省の『再生可能エネルギー情報提供システム[REPOS(リープス)]』サイトでは、再生可能エネルギーの導入ポテンシャルや自然的・社会的状況などのほか、自治体別の再生可能エネルギー導入状況を、ウェブサイト上の地理情報システム(Web-GIS)に収録しており、専用ソフトをインストールすることなく、パソコンやタブレット、スマートフォンから誰でも閲覧することができます。

出展)<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/shg/page02.html> <https://energy.jre.co.jp/re-energy-book/small-hydropower/>

<https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/>

(富山県デコ活推進員[地球温暖化防止活動推進員]:美香)



発行／一般社団法人でんき宇奈月

編集／一般社団法人でんき宇奈月 町野、水野

〒938-0282 黒部市宇奈月温泉633-1 大高建設(株)内 TEL 0765-62-1106

<https://www.denki-unazuki.net/>

ご意見ご感想お待ちしています！